

空港内の施設の維持管理等に係る検討委員会について

国土交通省 航空局

平成25年2月

1. 社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会

社会資本メンテナンス戦略小委員会

(設置)

平成24年8月29日

(構成員)

東京大学大学院 家田教授(委員長)

他有識者14名

2. 社会資本の老朽化対策会議

(設置)

平成25年1月21日

(構成員)

国土交通大臣(議長)

国土交通副大臣、国土交通政務官

事務次官、技監、国土交通審議官、各局長等

社会資本整備審議会・交通政策審議会への諮問



社会資本メンテナンス戦略小委員会

社会資本の維持管理・更新費用の将来推計や今後の維持管理・更新のあり方などについて、分野横断的な比較・整理、俯瞰的な視点からの検討を行うため、社会資本整備審議会・交通政策審議会の合同技術部会に設置。

〈検討項目〉

実態把握・将来推計

各施設の実態を把握し、施設ごとの維持管理・更新費用の推計手法について確認するとともに、課題を整理

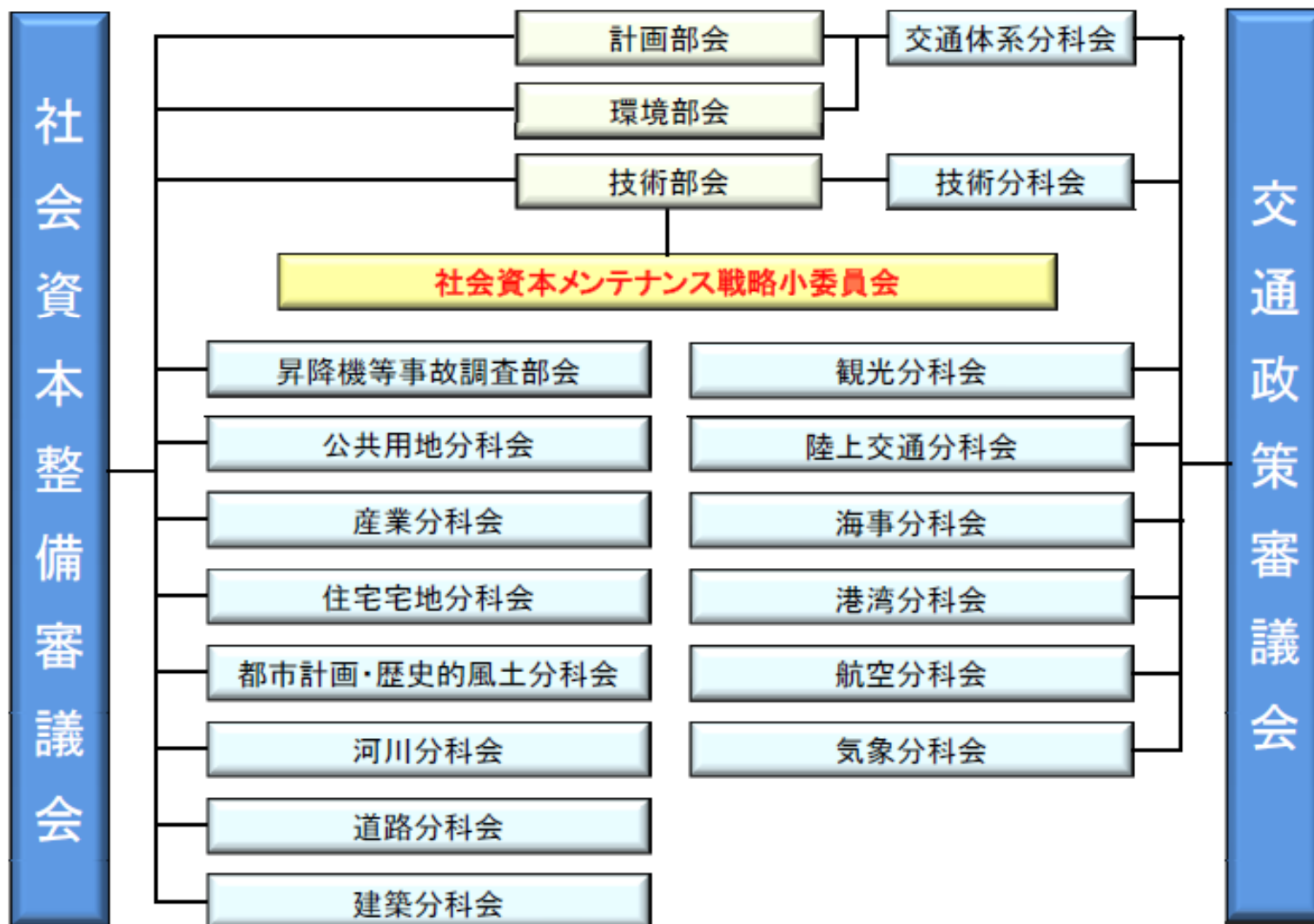
技術レビュー・開発の方向性

日本のインフラの維持管理を支えてきた技術を分野横断的にレビューするとともに技術開発の方向性を検討

維持管理・更新のあり方

地域や社会の構造、民間の知恵、人材、資金等の活用等を踏まえつつ、技術的な視点から検討

社会資本整備審議会・交通政策審議会の組織図



社会資本メンテナンス戦略小委員会

〈検討内容〉

- ① 地方公共団体が管理する施設を含め、国土交通省が所管する主な社会資本の実態の把握(試行版)
- ② 社会資本の維持管理・更新費用の将来推計(試行版)
 - ・10分野(道路、治水、下水道、港湾、公共賃貸住宅、都市公園、海岸、空港、航路標識、官庁施設)における今後50年間の推計
 - ・推計に際して社会資本の老朽化の実態やこれまでの維持管理実績を一部反映

〈検討内容〉

- 左記①、②に加え、
- ③ 社会資本の維持管理・更新に関する技術開発の向性
 - (例) ・長寿命化によるトータルコストの縮減
 - ・環境負荷軽減、省エネルギー化、機能高度化等の社会資本の質の転換等
- ④ 今後の社会資本整備の維持管理・更新のあり方
 - ・地域や社会の構造変化、民間の知恵、人材、資金等の活用等を踏まえつつ、技術的な視点から検討

25年3月頃中間とりまとめ、25年度中最終取りまとめ

〈道路分野〉

国道(国管理)の維持管理等に関する検討会

- ・維持管理基準の導入に対する評価
- ・路線の位置付け等を踏まえたサービス目標の設定
- ・国道(国管理)の目指すべき維持管理の水準や体制
- ・維持修繕・更新費用の将来推計

〈河川分野〉

安全を持続的に確保するための今後の河川管理のあり方検討小委員会

- ・持続的に安全を確保するための仕組みの構築
- ・資源・エネルギーとしての河川の再認識と守りを養う担い手の再構築
- ・社会的な要請を受けてこれからの河川の管理で取り組んで行くべき新たな対応

〈港湾分野〉

港湾施設の維持管理に関する検討会

- ・老朽度に応じた維持・改良手法
- ・維持・改良の技術開発のあり方
- ・維持改良費用の推計方法

〈空港分野〉

空港内の施設の維持管理に係る検討委員会

- ・空港における安全阻害要因を極力なくすための維持管理のあり方
- ・施設の安全基準及び点検方法等に係る緊急レビュー
- ・将来の劣化予測のあり方

委員会スケジュール

24年8月29日 第1回小委員会

- ・社会資本に関する実態の把握結果(試行版)
- ・維持管理更新費用の将来推計の考え方




24年10月29日 第2回小委員会



25年3月頃 今後の社会資本の維持管理・更新のあり方
(中間とりまとめ)



25年度中 同(最終とりまとめ)



必要に応じ、計画部会による社会資本整備重点計画のフォローアップ等に反映

「社会資本の老朽化対策会議」の設置について

平成25年1月21日

1. 趣旨

我が国社会資本の老朽化が進む中で、「国民の命を守る」観点から、社会資本の戦略的な維持管理・更新を推進することが必要である。

このため、必要な施策について検討し、着実に実施していくことを目的として、国土交通大臣を議長とする「社会資本の老朽化対策会議」を設置する。

2. 構成員

会議の構成員は、次のとおりとする。ただし、議長は必要があると認めるときは、構成員を追加することができる。

国土交通大臣(議長)、国土交通副大臣、国土交通大臣政務官

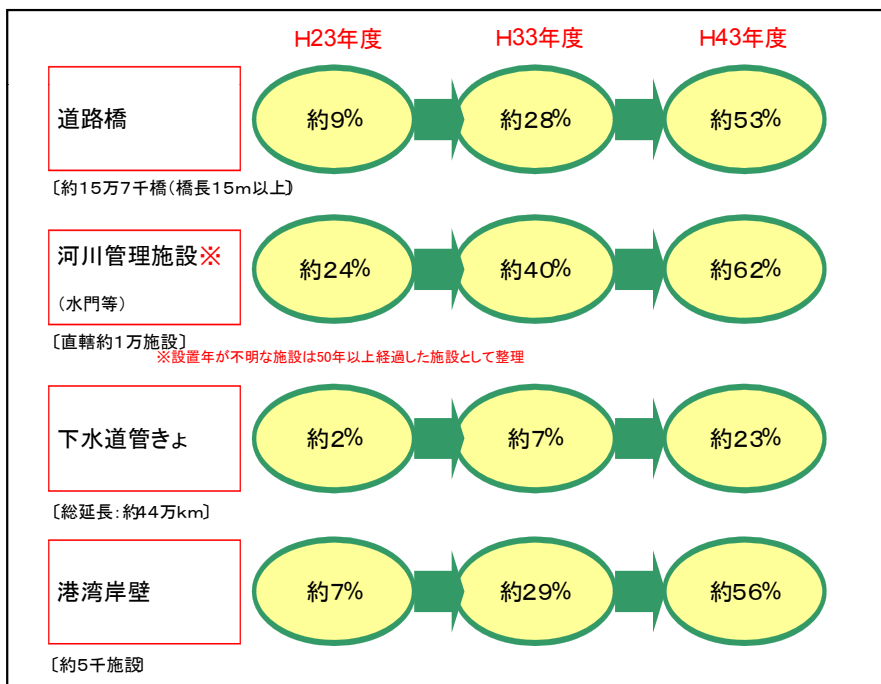
事務次官、技監、国土交通審議官、大臣官房長、総括審議官、技術総括審議官、建設流通政策審議官、危機管理・運輸安全政策審議官、技術審議官、官庁営繕部長、総合政策局長、国土政策局長、土地・建設産業局長、都市局長、水管理・国土保全局長、道路局長、住宅局長、鉄道局長、自動車局長、港湾局長、航空局長、北海道局長、国土技術政策総合研究所長、国土地理院長

社会資本の老朽化と戦略的な維持管理・更新

- 高度経済成長期に集中的に整備された社会資本が今後急速に老朽化。
- 定期的な巡視、点検により施設の健全度を把握した上で、**対策の内容や時期等を長寿命化計画として策定**。計画に基づき優先順位を定めて対策を実施することで、**施設の長寿命化を図り、トータルコストを縮減**。

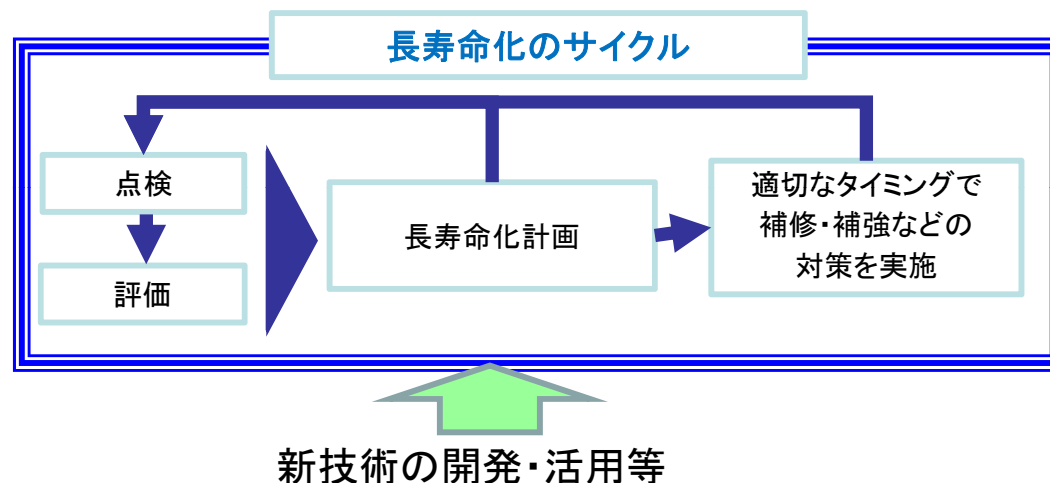
社会資本の老朽化の現状

今後急速に進行する社会資本の高齢化 (建設後50年以上経過する社会資本の割合)



○今後20年間で社会資本の老朽化が加速度的に進展

新技術の開発・活用等に支えられた長寿命化計画に基づく戦略的な維持管理・更新



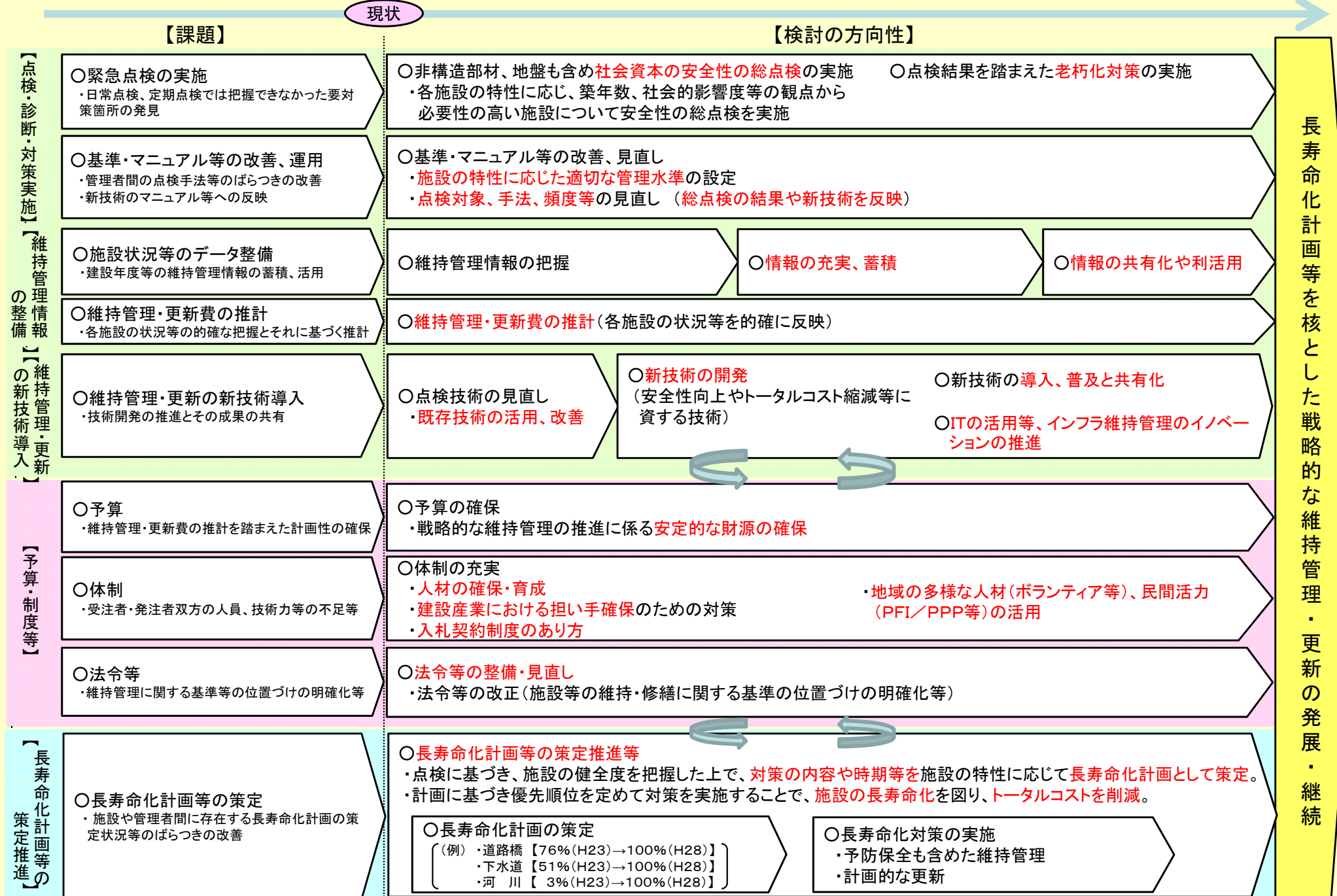
○計画的かつ戦略的に維持管理・更新を推進し、国民の命を守るためには、

- ①点検・評価を実施し、長寿命化計画を策定
(長寿命化のサイクルの開始)
- ②計画に基づき着実に対策を実施
(長寿命化のサイクルの円滑な実施)
- ③新技術の活用等により、点検・評価の精度や、対策実施の効率性、実効性を向上
(長寿命化のサイクルの充実)

を不断に進めていくことが必要。

今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について(検討の方向性)

○ 国民の命を守るため、以下の事項を一体的に実施していくことにより、戦略的な維持管理・更新を推進。



長寿命化計画等を核とした戦略的な維持管理・更新の発展・継続

背景

社会資本の老朽化が進むなかで「国民の命を守る」観点から、空港施設の維持管理・更新について定期的な巡回・点検により実態を把握した上で適切に推進する必要がある。

設立趣旨

○設立趣旨

本検討会は、今後の維持管理のあり方を検討するために設置するものである。

(主な検討項目)

- ・現状の安全基準及び点検方法の緊急レビュー
- ・安全障害要因をなくすための維持管理のあり方
- ・将来の劣化予測手法等のあり方

その他

検討会の成果については、社会資本整備審議会・交通政策審議会の技術部会に設置された「社会資本メンテナンス戦略小委員会」の議論にも反映させる。

本検討会の検討項目とスケジュール(案)は以下のとおり。

平成25年2月5日(火) 第1回検討委員会
◇検討項目
・検討方針、項目、スケジュール確認
・空港土木施設の現況と施設管理
・点検の現況について



平成25年3月上旬 第2回検討委員会
◇検討項目
・追加資料情報の提示
・点検方法等に係る提言



平成25年4月以降 第3回検討委員会
◇将来の劣化予測手法等のあり方